

平成 28 年度に発生した人身被害（公表案）

発生日時	平成 28 年 10 月 6 日（木）10 時 27 分
発生場所	釧路管内厚岸町民有林内ホマカイ下川
発生現場環境	うっそうとした森林内。林内に河川が流れている。 河畔林（ヤチダモ、ハルニレ、ハシドイ）、林床はミヤコザサ
被害者/被害	男性（40 歳）/重傷
発生時の状況 （推測）	<p>単独で林地境界の確認作業中に、ヒグマと遭遇し襲われた。 クマ鈴を装着し、クマスプレー持参していたが使用形跡なし。</p> <p>（通報を受けた同僚等からの聞き取り情報） 気づいたら目の前にヒグマがいた。突進したヒグマに突き飛ばされた。距離を置いたが、またやってきて攻撃された。その後気づくと、辺りを見回してもクマの姿はなく、沢沿いのハルニレにへたり込み、携帯電話で救助を求めたとのこと。</p> <p>連絡を受けて、ハンター同行のうえ捜索し本人を救出し、ドクターヘリにて釧路に搬送された。本人の意識ははっきりしており、電話応答もできたため、円滑に発見することができた。</p>
加害個体及び 事故発生原因 に関する情報 等	<p>当該ヒグマは、救出時、付近で発見されることはなかったが、寝床にしたように草本類が押しつぶされた痕跡があった。 周辺には糞などの痕跡はなく、長期滞在していたとは考えられなかった。このため、現地で定着して間もなく遭遇したものと推察された。</p> <p>足跡が前拳幅 20cm とのことであり、大型の雄成獣と思われる。</p> <p>ヒグマがエゾシカの死体についていた可能性を疑って周囲を調べたが、それらしいものは発見できなかった。</p> <p>事故発生時には 5～7m の北西風が吹いていた（当該地のアメダスデータ）</p> <p>周辺あるデントコーン畑には動物の食痕が見られた。デントコーンの作付けは 2, 3 年前から始まったものであるが、電柵等による防除は図られていない。</p>
発生に係る考 察	寝床や発見場所の位置関係や被害者の動線から、風下側からヒグマに接近した可能性が高い。（被害者本人から直接状況を聞き取ることができず推測）
対応策	<p>○単独行動を避け、複数での行動</p> <p>○被害防除対策として、周辺のデントコーン畑への電気柵の設置</p>